

水利用方針

制定:2026年6月26日

株式会社ブラウブリッツ秋田

1. 基本的な考え方

ブラウブリッツ秋田は、雄物川・米代川・子吉川をはじめとする河川や、日本海、湖沼など、秋田の豊かな水環境を地域の暮らしや産業、自然を支える貴重な資源であると考えています。その恵みを未来へつなぐため、クラブが関連するすべての施設において水資源の効率的な利用を推進するとともに、水使用量の把握・管理を通じて、水資源の節約と有効利用に継続的に取り組みます。

2. 長期ビジョン

クラブが関連するすべての施設において、水の節約・効率的利用・再利用を推進し、水使用量の継続的な削減に取り組みます。施設管理者と連携しながら、水由来の環境負荷を低減することを目指します。

3. 目標

- ・ クラブハウス・クラブ事務所における水使用量の月次モニタリングを2026年内に開始し、年間使用量のベースラインを確立する
- ・ 節水設備(センサー式水栓・節水シャワーヘッド等)の導入可能性の検討を2026年度内に実施し、導入候補箇所を特定する
- ・ スタジアムにおける水使用状況の把握を施設管理者(秋田市)と協議し、2027年度内に実態把握を開始する
- ・ スタッフ・選手への節水啓発を年1回以上実施する

※ 水使用量削減の数値目標はベースライン確立後に設定し、本方針に追記します。

4. 取り組み内容

- ・ クラブハウス・クラブ事務所における水使用量のモニタリングを開始します
- ・ 節水設備(センサー式水栓・節水シャワーヘッド等)の導入可能性を検討します(施設管理者との協議を前提とする)
- ・ スタジアムにおける水使用状況の把握を施設管理者(秋田市)と連携して進めます
- ・ スタッフ・選手への節水意識の啓発を行います
- ・ ファン・サポーターへの節水啓発活動(公式HP・SNS等での発信)を実施します

※ ソユースタジアム(秋田市八橋運動公園陸上競技場)は施設管理者が秋田市であるため、施設設備に関わる変更・改善は施設管理者との協議を前提とします。

本方針はサステナビリティ基本方針(2026年制定)に紐づく個別方針です。